

## 平成27年度 事業報告

社会福祉法人 札幌肢体不自由福祉会

社会福祉法人札幌肢体不自由福祉会は平成23年に設立し、第2種社会福祉事業の生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」、居宅介護(重度訪問介護)事業所「ヘルパーステーションDAI-ふく」と、公益事業の地域共同作業所「ふれあいセンター823」、「ふれあいセンター翔」を運営して参りました。その後、平成25年3月末で「ふれあいセンター823」を閉鎖し、その事業活動を生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」に移行しており、平成27年8月末には「ふれあいセンター翔」を閉鎖し、その事業活動を同年9月開設の生活介護事業所「O・むすび」に移行しており、法人設立時の課題であった地域共同作業所の社会福祉事業化(生活介護事業への移行)が、本年度で完了しております。

なお、公益事業の福祉有償運送事業については、当法人の柱でもある社会福祉事業(生活介護事業、居宅介護・重度訪問介護事業)の需要(利用者)の増加により、人的・物的(支援員、運転員、車両)に調整が困難となったことから、平成26年11月より事業の活動を見合わせております。

法人の基本方針及び運営理念に基づいて実施した平成27年度事業の結果について報告します。

### 1 法人の基本方針

誰もが人として認められ、幸せに生きることができる社会の実現をめざすとともに、地域との結びつきを重視し、利用者及びその家族が地域住民との交流の機会が確保されるよう努めます。

また、事業運営にあたっては、常に福祉サービスを受ける側の立場に立って、個の尊重及び自立支援を基礎に、利用者本位の良質かつ適切な福祉サービスを提供します。

### 2 運営理念

- (1) 重度障がい児者の尊厳を守るとともに、「利用者本位の運営」を行います。
- (2) 地域の方々との交流を深め、「社会参加の促進」を図ります。
- (3) 重度障がい児者に対する「日常生活の支援」を行います。
- (4) 一般就労が困難な重度障がい児者に対し、「創作的活動の機会」を提供します。
- (5) 当事者団体だからこそできる「思いを形」にします。

#### 【実施事業】

事業名	施設区分	施設種別・施設名	定員
第二種 社会福祉 事業	障害福祉サービス	生活介護事業 O・H・G(おはぎ)	20名
	障害福祉サービス	生活介護事業 O・むすび(おむすび)～ H27.9開設	20名
	障害福祉サービス	居宅介護事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	
	障害福祉サービス	重度訪問介護事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	
公益事業	地域共同作業所	小規模作業所 ふれあいセンター 翔 ⇒ H27.8末閉鎖	10名

3 役員の状況(定数:理事6名、監事2名)改選:平成27年3月24日(任期:平成29年3月24日まで)

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
理事長	山内 まゆみ	平成23年3月25日	重任	NPO法人理事
理事	松坂 優	平成23年3月25日	重任	社会福祉法人理事長
理事	我妻 武	平成27年3月25日	新任	NPO法人理事長、社会福祉法人理事
理事	渡辺 あや子	平成25年10月30日	重任	NPO法人会長
理事	菊地 ひとみ	平成23年8月24日	重任	施設長
理事	内海 信一郎	平成27年3月25日	新任	事務局長
監事	小野 雅美	平成23年3月25日	重任	社会福祉法人職員(室長) 平成27年5月31日辞任
監事	齋藤 洋介	平成27年6月1日	新任	社会福祉法人職員(副園長)
監事	細川 道子	平成23年3月25日	重任	税理士 平成27年5月31日辞任
監事	泉 司	平成27年8月5日	新任	一般社団法人常務理事(事務局長)

(役員は平成28年3月31日現在)

4 評議員の状況(定数13名)改選:平成27年3月24日(任期:平成29年3月24日まで)

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
評議員	山内 まゆみ	平成23年3月25日	重任	NPO法人理事
評議員	松坂 優	平成23年3月25日	重任	社会福祉法人理事長
評議員	我妻 武	平成23年3月25日	重任	NPO法人理事長、社会福祉法人理事
評議員	渡辺 あや子	平成23年8月24日	重任	NPO法人会長
評議員	菊地 ひとみ	平成23年8月24日	重任	施設長
評議員	瀧 三紀子	平成23年3月25日	重任	利用者家族
評議員	落合 正子	平成23年11月28日	重任	元NPO法人理事長
評議員	才野 修広	平成27年3月25日	新任	利用者家族
評議員	武藤 雅人	平成27年3月25日	新任	会社員
評議員	吉田 貫一	平成23年3月25日	重任	会社代表取締役
評議員	花田 貴博	平成23年3月25日	重任	有限会社代表
評議員	徳永 瑞穂	平成23年3月25日	重任	NPO法人理事
評議員	八島 昭雄	平成26年1月30日	重任	住職、青少年育成員、町内会顧問

(評議員は平成28年3月31日現在)

## 5 理事会の開催状況

回数	開催月日	出席者数	議 題 等
第1回	平成27年4月15日 (水)	理事 5名 監事 1名	①新規生活介護事業所改修工事の入札結果報告 ②生活介護運営規程の変更報告 ③新規生活介護事業所改修工事の契約締結 ④第三者委員の選任 ※全て原案どおり承認、可決
第2回	平成27年5月26日 (火)	理事 4名 監事 1名	①平成26年度決算監事監査報告 ②新規生活介護事業所改修工事の契約締結報告 ③監事(欠員)の選任結果 ④平成26年度事業報告・決算報告 ⑤第三者委員(欠員)の選任 ※全て原案どおり承認、可決
第3回	平成27年8月5日 (水)	理事 5名 監事 1名	①新規生活介護事業所の名称決定報告 ②監事(欠員)の選任 ③定款の一部変更 ④新規生活介護事業所開設に伴う規則・規程の制定・変更 ⑤新規生活介護事業所の事業計画(案) ⑥平成27年度補正予算(第1号) ※全て原案どおり承認、可決
第4回	平成27年11月24日 (火)	理事 4名 監事 2名	①第1・四半期監事監査報告 ②平成27年度社会福祉法人指導監査の結果報告 ③平成27年度上期事業報告 ④第2・四半期監事監査報告(追加) ⑤平成27年度補正予算(第2号) ⑥特定個人情報取扱規程の制定(追加) ※全て原案どおり承認、可決
第5回	平成28年3月25日 (金)	理事 6名 監事 1名	①第3・四半期監事監査報告 ②平成27年度補正予算(第3号) ③就業規則・給与規定の一部変更 ④平成28年度事業計画(案)・予算(案) ※全て原案どおり承認、可決

## 6 評議員会の開催状況

回数	開催月日	出席者数	議 題 等
第1回	平成27年5月26日 (火)	評議員9名 監事 1名	①平成26年度決算監事監査報告 ②新規生活介護事業所改修工事の契約締結報告 ③平成26年度事業報告・決算報告 ④監事(欠員)の選任 ⑤第三者委員(欠員)の選任 ※全て原案どおり承認、可決

第2回	平成27年8月5日 (水)	評議員11名 監事0名	①新規生活介護事業所の名称決定報告 ②監事(欠員)の選任 ③定款の一部変更 ④新規生活介護事業所開設に伴う規則・規程の制定・変更 ⑤新規生活介護事業所の事業計画(案) ⑥平成27年度補正予算(第1号) ※全て原案どおり承認、可決
第3回	平成27年11月24日 (火)	評議員8名 監事2名	①第1・四半期監事監査報告 ②平成27年度社会福祉法人指導監査の結果報告 ③平成27年度上期事業報告 ④第2・四半期監事監査報告(追加) ⑤平成27年度補正予算(第2号) ※全て原案どおり承認、可決
第4回	平成28年3月25日 (金)	評議員12名 監事1名	①第3・四半期監事監査報告 ②平成27年度補正予算(第3号) ③就業規則・給与規定の一部変更 ④平成28年度事業計画(案)・予算(案) ※全て原案どおり承認、可決

## 7 監事監査の状況

回数	開催月日	監査内容	意見
第1回 (決算 監査)	平成27年5月14日 (木) 〔一般事務監査〕 〔会計監査〕	平成26年度決算監査 ① 理事の業務執行状況 ② 法人の財産管理状況 ③ 法人、施設の業務執行状況 ④ 法人、施設の会計処理状況 ⑤ 施設の運営状況 ⑥ 総括及び細部状況	認定 ①適正 ②適正 ③適正 ④適正 ⑤適正 ⑥適正 『一般事務監査』～特になし 『会計監査』 ・「250万円以上の工事入札」～入札決定、記録簿の整備状況を確認、適正に執行 ・「決算」～前期より良好、新会計基準への移行も適正に執行
第2回 (第1・ 四半期)	平成27年9月30日 (水) 〔一般事務監査〕 〔会計監査〕	平成27年度第1・四半期監査 ① 理事の業務執行状況 ② 法人の財産管理状況 ③ 法人、施設の業務執行状況 ④ 法人、施設の会計処理状況 ⑤ 施設の運営状況 ⑥ 総括及び細部状況	認定 ①適正 ②適正 ③適正 ④適正 ⑤適正 ⑥適正 『一般事務監査』～特になし 『会計監査』～適正に執行されている

第3回 (第2・ 四半期)	平成27年11月20日 (金) 〔一般事務監査〕 〔会計監査〕	平成27年度第2・四半期監査 ① 理事の業務執行状況 ② 法人の財産管理状況 ③ 法人、施設の業務執行状況 ④ 法人、施設の会計処理状況 ⑤ 施設の運営状況 ⑥ 総括及び細部状況	認定 ①適正 ②適正 ③適正 ④適正 ⑤適正 ⑥適正 『一般事務監査』～ 特になし 『会計監査』 適正に執行されており、 特になし
第4回 (第3・ 四半期)	平成28年3月10日 (木) 〔一般事務監査〕 〔会計監査〕	平成27年度第3・四半期監査 ① 理事の業務執行状況 ② 法人の財産管理状況 ③ 法人、施設の業務執行状況 ④ 法人、施設の会計処理状況 ⑤ 施設の運営状況 ⑥ 総括及び細部状況	認定 ①適正 ②適正 ③適正 ④適正 ⑤適正 ⑥適正 『一般事務監査』 特になし 『会計監査』 適正に執行されており、 特になし

## 8 第三者委員の状況(定数:2名)改選:平成27年3月24日(任期:平成29年3月24日まで)

苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や状況に配慮した適切な対応を図るために設置。なお、今年度第三者委員が対応した苦情処理案件は0件。

### (1) 第三者委員

氏名	就任年月日	区分	備考
小野 雅美	平成23年3月25日	重任	社会福祉法人職員、当法人監事 平成27年5月31日辞任
齋藤 洋介	平成27年6月1日	新任	社会福祉法人職員、当法人監事
中村 康子	平成24年10月31日	重任	大学非常勤講師、

(第三者委員は平成28年3月31日現在)

### (2) 委員会の開催

苦情処理等委員会を開催する案件がないため、本年度は開催していない

## 9 生活介護事業所の改修工事等の状況

### (1) 生活介護事業所開設準備委員会

平成27年度の生活介護事業所開設に向け、施設の場所、規模、内容、予算等を調査検討し、開設に向けた準備業務の執行を行う事を目的として設置する。平成26年7月16日に第1回の準備委員会を開催し、その後月1回程度協議、検討を行い、平成27年3月4日まで10回の準備委員会を開催している。

◎生活介護事業所開設準備委員(任命:平成26年7月16日、平成27年2月16日より委員を拡大)

氏名	選出区分	備考
山内 まゆみ	当法人理事長	委員会委員長
渡辺 あや子	当法人理事、NPO法人代表	
我妻 武	当法人評議員、NPO法人代表	
徳永 光	当法人利用者の保護者	
菊地 ひとみ	当法人施設長	
内海 信一郎	当法人事務局長	
瀧 三紀子	当法人評議員、当法人利用者の保護者	拡大委員
佐京 正義	当法人評議員、当法人利用者の保護者	拡大委員
徳永 瑞穂	当法人評議員、当法人利用者の保護者	拡大委員

(2)改修工事の設計及び管理業務について

賃貸借建物(既存建物)の構造及び各種法令の適合確認を行うと共に、生活介護事業所として使用するための内部改修工事の設計、確認申請及び工事管理業務を専門業者に依頼する。

①入札方法:指名競争入札(3者)

②入札実施:平成26年12月25日、札幌市身体障害者福祉センターにおいて実施

③入札結果:渡辺理事、菊地理事、我妻評議員の立会いで実施し、株式会社A.I.C設計事務所に落札、落札金額は2,700千円(税抜き)。同日、落札業者と契約を締結(履行期間は、平成26年12月26日から平成27年6月30日まで)

④業務の執行状況:平成26年12月26日～平成27年1月20日、基本設計完了

平成27年1月21日～平成27年3月23日、実施設計完了(改修工事の確認申請に添付する建築時の確認申請の副本が不明なため、構造計算の見直し等の業務が追加したことから、1月間工期を延長)

平成27年3月24日～平成27年8月10日、工事監理業務完了(実施設計の追加業務による延長に伴い、改修工事期間が変更)

(3)改修工事について

生活介護事業所としての内部改修工事業務を専門業者に依頼する。

①入札方法:指名競争入札(5者)

②入札実施:平成27年4月15日札幌市身体障害者福祉センターで入札実施

③入札結果:渡辺理事、我妻理事、細川監事の立会いで実施し、亀田工業株式会社に落札、落札金額は40,000千円(税抜き)。同年4月28日、落札業者と契約を締結(履行期間は、平成27年4月30日から平成27年8月10日まで)

④工事の執行状況:平成27年4月30日着工、同年8月5日完了、同年8月6日工事検査を実施、同年8月10日引き渡し完了

(4)新規生活介護事業所開設に係る資金の状況について

【事業費】①改修工事費～43,200千円 【財源内訳】①福祉医療機構借入～41,100千円

②設計管理費～ 2,916千円 ②自己資金 ～ 6,320千円

③設備備品費～ 1,304千円

合計 47,420千円

## 10 運営会議の開催

月1回の定例開催のほか、事案に応じて随時運営会議を開催。事業報告、日程調整並びに月次の決算状況を基に、経営及び運営状況を確認すると共に、事業施行上の課題等を把握・検討し、法人経営の改善と事業運営の円滑化を図るために実施。

また本年度は、生活介護事業所「O・むすび」の開設に向けた協議・検討を行っている。

開催月日	出席者	協議事項等
平成27年4月13日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①新規生活介護事業所の改修工事入札について ②福祉医療機構の融資審査について ③保護者会について ④当面する日程、諸課題の調整
平成27年4月28日 (火)	理事長 施設長 事務局長	①新規生活介護事業所の改修工事の日程について ②平成26年度決算見込みについて ③評議員会、理事会の日程調整及び対応について
平成27年5月18日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①平成26年度補正予算について ②平成26年度事業報告・決算について ③新規生活介護事業所の名称について ④当面する日程、諸課題の調整
平成27年6月8日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①4月の月次資金収支状況報告 ②新規生活介護事業所の改修工事の進捗状況について ③当面する日程、諸課題の調整
平成27年6月23日 (火)	理事長 施設長 事務局長	①新規生活介護事業所の職員体制について ②5月の月次資金収支状況報告 ③当面する日程、諸課題の調整
平成27年7月9日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①新規生活介護事業所の改修工事の進捗状況について ②新規生活介護事業所に係る規則、規程の制定等について ③当面する日程、諸課題の調整
平成27年7月28日 (火)	理事長 施設長 事務局長	①6月の月次資金収支状況報告 ②新規生活介護事業所の初度備品等について ③当面する日程、諸課題の調整
平成27年8月10日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①新規生活介護事業所の改修工事引き渡しについて ②新規生活介護事業所の事業認可、開設日程について ③当面する日程、諸課題の調整
平成27年9月7日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①市の法人監査について ②7月の月次資金収支状況報告 ③平成27年度上期事業報告について ④平成27年度上期の予算執行状況と補正予算について ⑤当面する日程、諸課題の調整
平成27年9月24日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②職員体制について ③当面する日程、諸課題の調整

平成27年10月15日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②8月の月次資金収支状況報告と下期資金収支の見込みについて ③当面する日程、諸課題の調整
平成27年10月22日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②職員の処遇改善について ③マイナンバー制度の対応について ④当面する日程、諸課題の調整
平成27年11月5日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②9月の月次資金収支状況報告 ③当面する日程、諸課題の調整
平成27年11月20日 (金)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②評議員会・理事会について ③当面する日程、諸課題について
平成27年11月26日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②職員手当、マイナンバーに係る規程等の変更について ③職員体制について ④10月の月次資金収支状況報告 ⑤当面する日程、諸課題の調整
平成27年12月4日 (金)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②職員体制について ③当面する日程、諸課題の調整
平成27年12月17日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②会計・給与システムの見直しについて(マイナンバー対応) ③当面する日程、諸課題の調整
平成28年1月7日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②11月の月次資金収支状況報告 ③当面する日程、諸課題の調整
平成28年1月21日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②職員給与・手当の見直しについて ③会計・給与システムの見直しについて ④当面する日程、諸課題の調整
平成28年2月4日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②12月の月次資金収支状況報告 ③新年度事業計画・予算について ④災害時対応マニュアルについて ⑤当面する日程、諸課題の調整
平成28年2月18日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②職員手当の見直しについて ③新年度事業計画・予算について ④当面する日程、諸課題の調整



平成28年3月3日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②1月の月次資金収支状況報告 ③平成27年度決算見込みについて ④新年度事業計画・予算について ⑤当面する日程、諸課題の調整
平成28年3月23日 (水)	理事長 施設長 事務局長	①各事業所の運営状況と課題について ②評議員会・理事会について ③当面する日程、諸課題の調整

## 11 常勤職員会議、スタッフ会議の開催

### (1) 常勤職員会議

施設長と各事業所の常勤支援員を対象に、状況に応じて看護職、運行管理員、事務局も加わり、毎月1回、事業所ごとに開催。(O・H・Gは第3金曜日、O・むすびは第2水曜日)このほか、2施設合同の常勤会議も開催。

各事業所における行事及び利用者の状況等の確認とスタッフ会議に向けた案件の検討を行うとともに、「ヒヤリハット」案件の報告と課題や事故再発防止対策の検討、並びに利用者の処遇及び事業所の運営上重要な事項の連絡を行い、常勤支援員の連携と情報の共有化を図っている。

また、2施設合同の常勤会議では、各施設の状況報告、課題の提供を行うことで、施設間の情報の共有化を図るとともに、合同の行事等の検討、調整を行い、各施設の連携も図っている。

### (2) スタッフ会議

各施設の支援員、看護職員を対象に、状況に応じて運行管理員、事務局も加わり、施設ごとに月1回開催。(O・H・Gは第4月曜日、O・むすびは第2金曜日)

行事、連絡事項の伝達のほか、利用者の処遇や行事・送迎・入浴などサービス提供に関する課題の検討及び「ヒヤリハット」案件の報告と課題や防止対策の共有化を図るとともに、職員の勤務体制並びに事業所内の衛生保持に関することなどについて検討している。また、外部研修等の報告及び事例発表を行うことで、技術の向上や事故予防意識を醸成するとともに、各利用者の現状と活動上の課題等を把握し、職員間での現状認識の統一及び知識、技術の共有化を図っている。

## 12 職員の配置状況

※( )は外教で兼務職員

所 属	職 種	H27年 3月末日	H27年 4月1日	増	減	H28年 3月末日	備 考
本部事務局 (事務局長含む)	正職員	2	3	0	0	3	
	準職員	1	0	0	0	0	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	
	計	3	3	0	0	3	
生活介護事業 O・H・G(おはぎ) (管理者含む)	正職員	4	(1)5	1	4	(1)2	派遣2名 H27.5末ま で
	準職員	(1)4	6	3	3	6	
	非常勤職員	20	16	8	11	13	
	計	(1)28	(1)27	12	18	(1)21	
生活介護事業 O・むすび(おむすび) (管理者含む) 【H27.9.1開設】	正職員			4	0	4	
	準職員			5	2	3	
	非常勤職員			13	2	11	
	計			22	4	18	
居宅介護事業 (重度訪問介護) DAI-ふく	正職員	(1)2	(2)2	0	1	(2)1	
	準職員	(3)0	(2)0	(2)1	(1)0	(3)1	
	非常勤職員	(1)0	(1)0	0	(1)0	0	
	計	(5)2	(5)2	(2)1	(2)1	(5)2	
小規模作業所 ふれあいセンター 翔 【H27.8.31閉鎖】	正職員	1	1	0	1	0	
	準職員	0	(1)0	0	(1)0	0	
	非常勤職員	(1)2	2	0	2	0	
	計	(1)3	(1)3	0	(1)3	0	
法人全体	正職員	9	11	5	6	10	派遣2名 H27.5末ま で
	準職員	5	6	9	5	10	
	非常勤職員	22	18	21	15	24	
	合 計	36	35	35	26	44	

※H27.3.31付け退職者:(O・H・G)非常勤職員2名(期間満了)

※H27.4.1付け採用者:(O・H・G)正職員1名(H26.3.31まで非常勤職員)、非常勤職員1名

※H27.4.1付け登用者:(本部)正職員1名(準職員より)、(O・H・G)準職員2名(非常勤より)

なお、準職員から正職員への登用に対し、労働局の助成事業(キャリアアップ助成金)を申請している。

※「ふれあいセンター翔」閉鎖、「O・むすび」開設に伴い、H27.9.1付で人事異動を実施

「O・H・G」から正職員3名、準職員2名、非常勤職員8名、「翔」から正職員1名、非常勤職員1名異動

※H27.9.18付で「O・H・G」準職員1名退職(自己都合)に伴い、10.1付で人事異動を実施

準職員1名を「O・むすび」⇒「O・H・G」へ異動

※上記以外のH27年度途中退職者:正職員1名、準職員2名、非常勤職員6名の計9名(内訳:支援員5名、

看護師2名、送迎員2名:O・H・G5名、O・むすび3名、翔1名)～事由:期間満了5名、自己都合4名

※H28.3.31付け退職者:非常勤職員1名(O・むすび、送迎員)～契約期間満了

### 13 職員研修の状況

#### 【内部研修】

研修名	開催月日	開催場所	講師	参加数
安全運転講習	8月4日(火)	O・H・G(おはぎ)	株式会社インターリスク総研 (あいおいニッセイ同和損害 保険)	送迎運転員・ 職員 25名
新人職員研修	8月17日(月)	移動支援に同行	法人職員	新人生活支 援員 4名

#### 【外部研修】

研修名	開催月日	開催場所	主催・講師等	参加数
高次脳機能障害支援者研修会	6月20日(土)	北大医学部臨床 大講堂	北海道大学病院リハビリ テーション部	1名
新任介護職員研修	6月10日(水) 6月11日(木)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1名
ストレスチェック制度の取 組みポイントと職場の安全 配慮義務について	6月22日(月)	札幌千代田ビル	北海道 AD 倶楽部ケアフ レンズの会	1名
障がい者差別解消法と北 海道障がい者条例に期待 する物パネルディスカッ ション	6月27日(土)	身体障害者福祉 センター	D P I 北海道ブロック会 議	1名
社会福祉法人経営者セミ ナー	6月29日(月)	東京ドームホテル	北海道社会福祉協議会	1名
個別支援計画事業者研修 会(基礎研修)	7月23日(木) 7月30日(木)	身体障害者福祉 センター	札幌市	1名
新任介護職員研修	8月6日(木) 8月7日(金)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1名
町内会防災訓練、救命講 習会	9月25日(金)	藻岩地区センター	藻岩下町内会	2名
改正社会福祉法と福祉施 設のリスクマネジメントセミ ナー	10月5日(月)	札幌千代田ビル	税理士法人さくら総合会 計	2名
安全運転管理者講習	10月13日(火)	札幌ホテルヤマチ	北海道公安委員会	1名
改正社会福祉法と福祉施 設のリスクマネジメントセミ ナー	10月14日(水)	札幌千代田ビル	税理士法人さくら総合会 計	1名
相談支援従事者研修 (サービス管理責任者向け研修)	10月21日(水) 10月22日(木)	札幌医科大学	北海道	1名
個別支援計画事業者研修 会(基礎研修)	10月21日(水) 10月29日(木)	身体障害者福祉 センター	札幌市	1名
障がい者への虐待防止を 考える講演会	11月9日(月)	社会福祉総合セ ンター	札幌市 札幌市社会福祉協議会	1名
メンタルヘルス研修	11月12日(水) 11月13日(木)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1名
職場研修担当者養成研修	11月26日(木) 11月27日(金)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1名

平成27年度障がい者総合支援法及び児童福祉法に基づく集団指導	12月3日(木)	札幌市民ホール	札幌市	2名
介護者支援研修会「日常生活のポジショニング」	2月28日(日)	北翔養護学校	札幌地区重症心身障害児(者)を守る会	9名

#### 【個別面談】

実施期間	対象職員
1年を通して随時実施	全職員

#### 【新人研修】

実施期間	対象職員
8月17日(月)	4名(永塚、堀、末吉、中山)

※内部研修、外部研修参加後には、報告書を提出しスタッフ会議などで内容を報告。

※個別面談は、原則理事長と施設長による。

※新人研修は、上記研修のほか、当該職員の個別面談時に実施。内容は、当法人の運営方針の理解、職員としての倫理、接遇などについて。

#### 【資格取得研修】

研修名	開催月日	開催場所	講義内容等	参加数
相談支援従事者研修(サービス管理責任者向け研修)	平成27年 10月21日～22日	札幌医科大学 講堂	指定障害福祉サービス事業所のサービス管理責任者の養成研修	1名
社会福祉士通信課程	H27.5～H27.8 スクーリング⇒8/8 (土)、8/9(日)、8/22(土)	西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校	H27(2年次)課程 通信学習(H27.5～H27.8) スクーリング:相談援助実習	1名

※「社会福祉士通信課程」は準職員(有期契約職員)受講のため、労働局の助成事業(キャリアアップ助成金)を活用している。

## 14 監査、運営指導等

### (1) 札幌市による社会福祉法人の指導監査及び障害福祉サービス事業者等に対する実地指導

- ・ 監査実施日：平成27年9月8日(火)
- ・ 監査担当者：札幌市保健福祉局 監査指導課(2名)、障がい者福祉課(2名)
- ・ 当方対応者：理事長、施設長、事務局長、事務員、生活介護事業主任、居宅介護事業主任
- ・ 対象事業等：平成26年度事業

※指導監査～会計・経理関係、利用者処遇関係、庶務関係、人事関係の諸帳簿、社会福祉法人運営調書、社会福祉法人概況調書、平成27年度予算及び事業計画書、監査前月分の給与支給台帳、直近の法人・不動産の登記簿謄本等

※実地指導～人事管理関係、施設・備品関係、利用者説明及び契約関係、サービス提供関係、請求及び利用者負担額関係、衛生・緊急時対応関係、苦情処

理・事故処理関係、各種届出関係、その他研修、消防、個人情報、車両運行管理簿等の諸帳簿

- ・ 監査結果等：①口頭指導～1件(時間外・休日労働に関する協定を協定期間開始前までに所轄の労働基準監督署に届け出る)⇒下記のとおり改善状況を報告
- ②現地指導～6件(一部役員の就任承諾書の徴取、給与口座振り込み同意書を改姓時に徴取、労働者名簿の改姓等の変更事項記載、利用契約書は理事長名で交付、居宅介護・重度訪問介護計画の作成者はサービス提供責任者を記載し担当者・サービス提供日時を明確に記載、生活介護計画の作成において利用者との面談及び会議等の日時を明確に記載)

◎『指導監査に係る指導事項改善報告書』（口頭指導事項1件）：平成28年2月22日付で報告

口 頭 指 導 事 項	改善状況又は今後の方針
1. 時間外・休日労働に関する協定（36協定）について、協定期間開始前までに所轄の労働基準監督署に届け出ること。（労働基準法第36条）	従前は、3月の職員会議において当該協定を締結していたが、今後は協定の締結時期を2月の職員会議で行い、協定開始期間前までに所管の労働基準監督署に提出する。

## 15 職員の事故等の状況

### (1) 業務中の事故等

- ①事業所内 1件(利用者の不随意運動による打撲傷1件)

負傷等の状況は、利用者の不随意運動による職員の顔への打撲傷による出血1件である。

打撲による腫れ及び切創は軽傷のため初診のみの通院で終えており、完治している。(労災対応)

- ②送迎従事中の事故及び交通事故違反はない。

### (2) 感染症等による体調不良

- ①感染症 0件

- ②その他 3件

その他の症状は、体調不良であり、ストレスからくる心因性の疑いによるものである。

## 16 各事業運営の状況

### 1. 支援方針及びサービス内容に関して

#### (1) 個別支援計画の作成

毎日の記録の作成及び支援会議内における利用者個々の検討の積み重ねにより、利用者及び家族のニーズに沿った支援を行うことが出来るよう、計画の作成に努めている。

相談支援事業所によるサービス利用計画の作成がなされるようになったため、外部の相談支援事業所とのやり取りが増え、個別支援計画の作成にも反映されてきている。

#### (2) 食事サービスの提供

給食は、前年度と同様に週3回(月、水、木)実施している。

給食が提供されない火・金曜日は、お弁当屋さんからの購入や、散歩を兼ねて近くの店へ買い物に行く等の対応を行っている。

弁当の購入は、利用者にとっても非常に楽しみな時間となっており、また、業者の方との会話やお金の受け渡しなど、社会との貴重な接点となっており、社会性を養う上で大切な体験となっていることから、今後もこの給食提供の体制を続けていく考えである。

#### (3) 入浴サービスの提供

入浴は、週5日(月～金曜日)実施している。

個人個人の希望に合わせた入浴介助を基本とし、利用者同士や職員とのコミュニケーションを楽しみながらゆったりと入浴できるように努めている。

また、感染症(白癬菌等)の対応が必要な利用者が増えてきたことから、利用時間の調整やタオルの管理など衛生面での対応に充分注意して実施している。

障がいの状況の変化により、入浴介助が難しくなっている利用者もおり、浴室内の環境整備や入浴機器の導入なども視野に入れていく必要がある。

#### (4) 送迎サービスの提供

送迎に関しては、2つの事業所が担当区域を分担することで市内全域送迎を維持している。

利用者のほとんどが送迎を希望しているため、送迎車の増車とドライバーの確保が課題となっているが、保有車両の老朽化と過度な使用などから本年度は2台を廃車せざるを得ない状況になってことから、急ぎ中古車両1台を購入し、対応している。今後も送迎車の整備が急務となっている。

また、ドライバーの資質の向上と職員間の連携を図るため、会議や研修を実施し、利用者との関係づくりや安全で安心して利用できる送迎サービスの提供に努めている。

#### (5) 健康管理及びバイタルチェック

看護師を中心に、毎日の健康管理を行っている。

投薬の管理については、職員間でのチェックを行うなど、誤薬の防止に努めている。

各業務のマニュアルを作成し、事業所内の衛生管理も行っている。

特にノロウイルス発生時のマニュアルの見直しや、マニュアルにあるような動きができるようにするための研修の実施が課題となっており、実際に行動内容を確認するための打ち合わせを行っている。

#### (6) 創作的活動及び生産活動(布製品等の小物類の製作)、余暇活動

生産活動に関しては、利用者の身体機能や嗜好に合わせて、縫い物だけではなく、誰でも参加できる内容の作業を取り入れている。

利用者の身体状況を見ながら作業量を調整するように配慮しているが、頑張りすぎてしまう利用者もいるため、休憩が取れるよう職員からの声掛けや、違う作業に参加してもらったりなど、気分転換を図りながら対応している。

日中活動の中で使用するゴミ袋丸め等の軽作業や、レクレーションのまとめ等の作業もメニューに取り入れることで、利用者同士のやり取りが増えるような場面を多くしている。

午前と午後の活動内容も数種類に分け、利用者の希望や考えで活動に参加してもらおうようにしており、作業のみではなく、利用者同士や職員との関わりを持つ時間も大切にしながら進めている。昼休みなどには、同じ趣味を持っている利用者が集まって会話を楽しむ様子も毎日のように見られている。

ゆっくりではあるが、利用者が集団生活の中で待つことが出来たり、自分の気持ちを押しさえたりすることが出来るようになってきており、成長してきている様子が見られるようになっている。

土曜のレクリエーションに関しては、内容をバラエティーに富んだものにし、外出する機会も多く作るなどしていることで、参加者が多くなっている。調理を伴うレクリエーションや外出するレクリエーションには参加希望者が多く、同じレクリエーションを2回行うなどして参加人数の調整を図ることもある。また、外出するレクリエーションでは、職員体制を確保するために、2事業所合同での実施も行っている。

今年度も郊外散策ということで、送迎車を使って出かけるレクリエーションを5月から9月の間に4回企画し延べ40名が参加した。意見交換会で行きたい場所を出してもらったものをもとに行先を決めるなど、利用者が関わりを持ちながら実施している。

(7) 身体機能及び日常生活能力の維持・向上のための支援

側弯や痙性の強さなど利用者の身体状況を考え、昼休みや午後の活動の中で、車いすから降りて横になる時間を作るようにしている。

また、午後の活動の前にラジオ体操を取り入れ、心身の緊張を和らげ、午後の活動への気持ちの切り替えを促すような対応を行っている。

なるべく現状の身体機能を維持していただくため、その日の利用者の体調を考慮しながら、自分でできることは時間をかけてでも行ってもらおうよう心がけながら支援をしている。

(8) 社会参加の促進

今年度は、それぞれの事業所がある地域で赤い羽根共同募金の街頭募金活動に参加し、積極的に社会とのかかわりを進めている。

また、新規事業所の内覧会では、町内会の役員の方も来て頂くなど、町内会の住民の方々に理解を深めてもらえるよう努めている。

(9) 生活相談

利用者及び保護者の生活に関する相談に対しては、常に対応できるようにしている。

2. 利用者の状況(平成28年3月末現在)

◎生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」

\*生活介護事業所定員 20名

\*生活介護事業所契約者数 34名(男性 18名、女性 16名)～昨年度 51名

10代	20代	30代	40代	50代	60代
4名 (男1・女3)	18名 (男13・女5)	5名 (男3・女2)	6名 (男1・女5)	0名	1名 (男0・女1)

(平成27年9月に新規事業所へ一部利用者が異動)

\*生活介護事業所契約者障害程度区分(3月末平均障害程度区分 5.3～昨年度 5.1)

区分	2	3	4	5	6
人数	0名	2名	2名	7名	23名

◎生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」(平成27年9月1日開所)

\*生活介護事業所定員 20名

\*生活介護事業所契約者数 28名(男性 13名、女性 15名)

10代	20代	30代	40代	50代	60代
2名 (男1・女1)	16名 (男7・女9)	9名 (男5・女4)	1名 (男0・女1)	0名	0名

\*生活介護事業所契約者障害程度区分(3月末平均障害程度区分 5.2)

区分	2	3	4	5	6
人数	0名	1名	3名	8名	16名

※生活介護事業所の開所により待機者は解消する。

◎地域共同作業所「ふれあいセンター翔」(平成27年8月31日閉所)

\*定員 10名

\*契約者数 8名(男性 4名、女性 4名)～昨年度 8名

10代	20代	30代	40代	50代	60代
0名	3名 (男1・女2)	4名 (男3・女1)	1名 (男0・女1)	0名	0名

\*契約者障害程度区分(8月末平均障害程度区分 6.0～昨年度 6.0名)

区分	2	3	4	5	6	未取得
翔	0名	0名	0名	0名	8名	0名

◎居宅介護事業所「DAI-ふく」

\*ヘルパーステーション DAI-ふく

居宅介護事業契約者数 17名(昨年度 18名)

移動支援事業契約者数 19名(昨年度 18名)

重度訪問介護契約者数 4名(昨年度 3名)

3. 利用状況(平成28年3月末現在)

◎生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」

\*生活介護事業所月平均利用人数 38名(昨年度 46名)

区分	2	3	4	5	6	合計
月平均利用人数	0名	3名	3名	7名	25名	38名
月平均利用総日数	0日	38日	40日	92日	197日	367日

\*生活介護事業所平均開所日数 22日/月

\*生活介護事業所開所日平均利用人数 17名/日(昨年度 20名/日)

◎生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」(平成27年9月1日開所)

\*生活介護事業所月平均利用人数 26名

区分	2	3	4	5	6	合計
月平均利用人数	0名	2名	3名	6名	15名	26名
月平均利用総日数	0日	20日	56日	70日	165日	311日

\*生活介護事業所平均開所日数 22日/月

\*生活介護事業所開所日平均利用人数 14名/日

◎地域共同作業所「ふれあいセンター翔」(平成27年8月31日閉所)

\*小規模作業所利用人数 8名(昨年度 8名)

区分	2	3	4	5	6	合計
月平均利用人数	0名	0名	0名	0名	8名	8名
月平均利用総日数	0日	0日	0日	0日	48日	48日

\*小規模作業所平均開所日数 20日/月

\*小規模作業所開所日平均利用人数 2.3名/日(昨年度 3名/日)

◎居宅介護事業所「DAI-ふく」

\*ヘルパーステーション DAI-ふく

居宅介護事業平均利用回数 34回/月(昨年度 24回/月)

移動支援事業平均利用回数 24回/月(昨年度 20回/月)

重度訪問介護平均利用回数 7回/月(昨年度 5回/月)





10 月	1	木	OHG 赤い羽根街頭募金活動参加	11 月	7	土	北翔学校祭出店
	4	日	すし研出店		14	土	レクレーション (OHG～ハンドベルレク)
	5	月	○・むすび赤い羽根街頭募金活動参加				(○・むすび～スムージーレク)
	9	金	ドライバー会議		17	火	OHG 第51回常勤職員会議
	10	土	レクレーション (OHG～パスタ作りレク) (○・むすび～アイスクリーム作りレク)		18	水	○・むすび第3回常勤職員会議
	14	水	○・むすび避難訓練 ○・むすび第2回常勤職員会議		20	金	○・むすび第3回スタッフ会議
	16	金	○・むすび第2回スタッフ会議		27	金	OHG 第52回常勤職員会議
	17	土	トヨタハートフルフェア出店		28	土	レクレーション (OHG～ピザ作りレク) (○・むすび～トートバック作りレク)
	18	日	トヨタハートフルフェア出店		30	月	OHG 第56回スタッフ会議
	20	火	OHG 避難訓練				
	24	土	レクレーション (OHG～読み聞かせレク) (○・むすび～聞きょうざレク)				
26	月	OHG 第55回スタッフ会議					
31	土	拓養祭出店					
12 月	4	金	ドライバー会議 真養高等部祭出店	1 月	9	土	父母の会成人式
	11	金	合同年末レク(サンプラザ)		13	水	○・むすび第5回常勤職員会議
	14	月	○・むすび第4回常勤職員会議		15	金	○・むすび第5回スタッフ会議
	16	水	○・むすび第4回スタッフ会議		19	火	合同常勤職員会議
	25	金	OHG 第53回常勤職員会議		22	金	OHG 第54回常勤職員会議
	26	土	レクレーション (OHG～年賀状作りレク) (○・むすび～ピザ作りレク)		23	土	レクレーション (OHG～ボンボンアクセサリー作りレク) (○・むすび～雪遊びレク)
	28	月	OHG～第57回スタッフ会議		25	月	○・むすび避難訓練 OHG 第58回スタッフ会議
2 月	5	金	ドライバー会議	3 月	2	水	OHG 第59回スタッフ会議
	13	土	レクレーション (OHG～ボンボンアクセサリー作りレク) (○・むすび～アートパンケーキレク)		3	木	合同常勤会議
	17	水	○・むすび第6回常勤職員会議		12	土	レクレーション (OHG、○・むすび合同外出レク)
	19	金	○・むすび第6回スタッフ会議		15	火	ラッサルクッション説明会
	22	月	○・むすび意見交換会		16	水	○・むすび第7回常勤職員会議
	26	金	OHG 第55回常勤職員会議		18	金	○・おむすび第7回スタッフ会議
	27	土	OHG 避難訓練 レクレーション (OHG～雪遊びレク) (○・むすび～DVD鑑賞レク)		23	水	OHG 第56回常勤職員会議
	29	月	OHG 意見交換会		26	土	レクレーション (おはぎ、○・むすび合同外出レク)
			28	月	OHG 第60回スタッフ会議		

※ この他にも、ケア会議、製品会議等を各事業所にて随時実施。また、外部でのケア会議にも積極的に参加。

#### 5. 実習、見学等の受け入れについて

上期では、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」で、拓北養護学校高等部生3名と真駒内養護学校高等部生1名の実習を受け入れた。

下期では、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」で、拓北養護学校高等部生2名と真駒内養護学校高等部生1名、一般成人3名の実習を受け入れた。

また、生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」では、拓北養護学校高等部生1名、真駒内養護学校高等部生6名、北翔養護学校高等部生1名と一般成人3名の実習を受け入れた

実習生の受け入れは、拓北養護学校高等部3年生を4名、1年生を1名、真駒内養護学校高等部3年生を1名受け入れた。

これらの実習生については、ほとんどが通所利用に結びついている。

見学については、利用希望者本人やご家族、養護学校PTA、養護学校教員、専門学校生等の受け入れを行った。

#### 6. 年間計画について

##### (1)利用者意見交換会の実施について

当該年度の事業に対する意見、次年度活動の要望など利用者の意見交換の場を、それぞれの事業所ごとで年度末に1回開催している。

新年度の活動に対する意見を頂ける貴重な場でもあり、今後も年度末に開催する。

##### (2)保護者会について

本年度から開催時期を年度当初に変更している。新年度の法人の事業方針、各事業所の年度計画などの説明を行い、その後、重要事項説明の変更に関する説明を行っている。併せて、保護者から法人、事業所等に対する意見、要望等を伺うとともに、利用者の事業所での状況などを伝えており、当法人の事業運営に理解を頂く貴重な場となっている。

#### 7. ヒヤリハット件数

\*ヒヤリハット総数 7件(全て生活介護事業)～昨年度11件

\*ヒヤリハット月別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室・脱衣所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
トイレ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
活動室内	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
玄関前	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
廊下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	7

※ 傾向として、職員の慣れや思い込みが原因となっていることが多くみられることから、報告書の回覧、今後の対策の話合い等を職員間で重ねることで、施設内での転倒防止、送迎時の事故防止、入浴時・排せつ時の事故防止及び外出時の事故防止に努め、特に配慮を要する利用者への見守りや支援に関しては、職員間で情報を共有し、再度支援に対する共通理解を図っている。また、毎月行うスタッフ会議で確認を行い、指導をしている。

#### 8. 意見、要望、苦情、事故件数

◎意見・要望件数 0件

今年度は、意見・要望は寄せられていない。

◎苦情件数 0件

今年度は、苦情は寄せられていない。

◎事故件数 26件(生活介護事業所 25件、ヘルパーステーション DAI-ふく 1件)～昨年度16件

\* 事故月別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室・脱衣所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ト イ レ	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4
活 動 室 内	1	0	1	1	0	1	2	3	0	0	3	1	13
玄 関 前	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	5
送 迎 先	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
外 出 先	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	5	0	2	2	1	2	2	4	0	2	4	2	26

※事故内容

●移動対応時、動作介助時の事故(13件)

- ・利用者がカップの取手をうまくつかめず、まだ温かい飲み物を手の甲にこぼした。
- ・活動室内を職員介助で歩行中、つまずき転倒した。
- ・送迎時、利用者宅前で移乗中に転倒した。
- ・活動室内で布団に横になって、寝返りをした時に頭を床にぶつけた。
- ・活動室内で、椅子に手をついて動こうとした時にバランスを崩しお尻をついた。
- ・送迎車に乗る際に、入り口上部に利用者が頭をぶつけた。
- ・床のコンセントにつまずき膝をついた。
- ・室内での移動の際に、足が絡まり転倒した。
- ・玄関マットにつまずき、膝をついた。
- ・方向転換時に、手とお尻をついた。
- ・送迎車までの歩行中に、滑って両膝をついた。
- ・送迎車に乗る際に、バランスを崩して手と膝をついた。
- ・コートを脱ぐ際にバランスを崩し、後ろ向きに転んだ。

●利用者本人に起因する事故(4件)

- ・送迎車の乗降中に、送迎車内にいた利用者が、他の利用者の腕をつかみ傷をつけた。
- ・入浴中発作が起き、一瞬お湯に顔がついてしまった。
- ・利用者がパニックを起こし、額を自分でテーブルにぶつけた。
- ・他の利用者が投げたビニール袋が、利用者の額にあたった。
- ・ミシンの針が、利用者の指に刺さった。

●職員に起因する事故(4件)

- ・トイレ介助時に、カテーテルの接続部が外れ、尿が漏れた。
- ・ペアンをチューブに付けたまま帰宅させてしまった。
- ・経管栄養の利用者の栄養を入れているときに、溶かして置いてあった薬をこぼしてしまった。
- ・移動支援の際、利用者の財布を落としてしまった。

※ ヒヤリハット同様、職員の慣れや思い込みが原因となっていることが多くみられる。報告書を基に、職員間で事故が発生した状況を確認し合い、注意の徹底を再度行い、危険個所の改善、活動の中での危険性のある場面の検証を行い、職員間で事故に至らないための対応を検討し、共通理解を図っている。また、毎月行うスタッフ会議で確認を行い、指導をしている。

## 9. 売り上げ及び工賃支払状況

### \* 売り上げの状況と工賃の支払い状況

(生活介護事業所 O・H・G～4月から3月、生活介護事業所 O・むすび～9月から3月、地域共同作業所ふれあいセンター翔～4月から8月まで)

	売 上 げ 額	材 料 費	残 額	工賃支払額
4月	72,309	85,555	△13,246	96,430
5月	57,114	37,771	19,343	82,770
6月	52,502	62,420	△9,918	99,310
7月	232,057	11,052	221,005	97,050
8月	78,413	139,728	△61,315	88,380
9月	105,493	21,583	83,910	101,000
10月	97,679	23,966	73,713	111,400
11月	147,208	64,433	82,775	108,000
12月	94,181	16,552	77,629	108,600
1月	51,506	63,146	△11,640	109,400
2月	48,550	6,451	42,099	114,000
3月	52,395	1,841	50,554	123,200
合 計	1,089,407	534,498	554,909	1,239,540
前年度	1,209,838	386,605	823,233	1,065,880

※ 市内の養護学校や施設の行事に出店したり、元気ショップでの委託販売を中心に販売活動を行った。

元気ショップの売り場移転による売り上げの増加、7月は、吉田学園のチャリティーゴルフコンペ表彰式でのチャリティー販売による売り上げ、9月の出店での売り上げ、11月は障がい者の日記念事業養製品の委託での売り上げが大きかった。

工賃については、作業意欲、通所意欲を高める狙いもあり、O・H・G(おはぎ)並びにO・むすび(おむすび)では一律1日200円の工賃を支給し、ふれあいセンター翔は、昨年度と同額の一律1日130円の工賃を支給した。(レクレーション、行事参加日は除く)